

3 すべての人に
健康と福祉を



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



障がい者・高齢者を支援するICT

総合理工学部 教授 廣富 哲也

自立的に歩いて移動することを補助する機器に「歩行車」があり、屋内・屋外で広く使用されています。しかし、高齢者が歩行車の動きについていけず、転倒する事故が発生しています。歩き方や坂道でのブレーキの掛け方などには個人差があるため、より安全な歩行車を実現するためには、その個人差をふまえた制御機能の開発が必要です。そこで、本研究室では、ICTを活用し、歩行車との距離や歩行速度を計測・学習することにより、一人一人に合わせたブレーキをかける歩行車を研究開発しています。

上記以外にも、発話による意思伝達が困難な障がい児・者の会話を支援する生成AIを使ったコミュニケーションアプリ、肢体不自由児・者がタブレットなどの機器を使用するときのポジショニング（座位保持装置の設定や機器の配置）を支援するシステムなど、ICTを活用したアシスティブ・テクノロジーに関する研究開発を行っています。

